

化学療法治療レジメン

申請書
計画書

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉 → 〈化学療法委員会〉
〈主治医〉 → 〈薬剤部〉

芳珠記念病院化学療法委員会

治療レジメン名：	NHL-6 R-ICE	総投与時間：
申請医：青島 敬二Dr	催吐性リスク：高度	最新登録日：2021年 8月

	薬剤名	投与方法	投与量	投与日	クール
	リツキシマブBS	div	375mg/m ²	D1,8,15	3週間
	イホマイド(IFM)		1200mg/m ²	D2-6	
	カルボプラチン(CBDCA)		400mg/m ²	D2	
	ラステット(VP-16)		100mg/m ²	D2-6	
対象(適応癌種)	CD20陽性の中・高悪性度の非ホジキンリンパ腫				

	薬品名【投与量】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	デキサート6.6mg 1V 生食 100mL	div	250 mL/hr			D1,8,15
Rp2	5%ブドウ糖液 100mL		ゆっくり			
Rp3	リツキシマブBS【 mg】 5%ブドウ糖液【 mL】 Total 100mL		50→100→ 150→200 mL/hr (十分観察しながら1時間毎に 速度をあげる。 問題なく施行で きた場合は次 回より 100mL/hrでの 開始可能)	375 mg/m ²		
Rp4	リツキシマブBS【 mg】 5%ブドウ糖液【 mL】 Total 500m				mg/body	
Rp5	カロナール(200) 2T d-クロルフェニラミン酸塩徐放錠(6) 1T / リツキシマブBS開始30分前に服用 1回分					

	薬品名【 投与量 】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	(側管) デキサート 9.9mg(適宜減量) グラニセトロン 1A イメンド使用 生食 250mL	div (ケモセーフ 使用)	250 mL/hr			D2
Rp2	(側管) イホマイド【 mg/body】 ウロミテキサン【 mg/body】 生食 500mL ※ウロミテキサンの標準投与量は 240mg/m ² とする		250 mL/hr	1200 mg/m ²	mg/body	
Rp3	(側管) カルボプラチン【 mg/body】 5%ブドウ糖250mL		250 mL/hr	400 mg/m ²	mg/body	
Rp4	(側管) ラステット【 mg】 生食500mL		250 mL/hr	100 mg/m ²	mg/body	
Rp5	(側管) 生食50mL(ラステット後フラッシュ用)		500 mL/hr			
Rp6	(側管) ウロミテキサン【 mg】 生食 100mL ※ラステット注終了直後に開始する		200 mL/hr			
Rp7	(側管) ウロミテキサン【 mg】 生食 100mL ※2回目のウロミテキサン開始4時間後		200 mL/hr			
Rp8	(本管) メイロン7% 2A ソルデム1 500mL		100 mL/hr			
Rp9	(本管) メイロン7% 2A ソルデム1 500mL		100 mL/hr			

	薬品名【投与量】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	(側管) デキサート 9.9mg(適宜減量) グラニセトロン 1A 生食 250mL	div (ケモセーフ 使用)	250 mL/hr			D3-6
Rp2	(側管) イホマイド【 mg/body】 ウロミテキサン【 mg/body】 生食 500mL ※ウロミテキサンの標準投与量は 240mg/m ² とする		250 mL/hr	1200 mg/m ²	mg/body	
Rp3	(側管) ラステット【 mg】 生食500mL		250 mL/hr	100 mg/m ²	mg/body	
Rp4	(側管) 生食50mL(ラステット後フラッシュ用)		500 mL/hr			
Rp5	(側管) ウロミテキサン【 mg】 生食 100mL ※ラステット注終了直後に開始する		200 mL/hr			
Rp6	(側管) ウロミテキサン【 mg】 生食 100mL ※2回目のウロミテキサン開始4時間後		200 mL/hr			
Rp7	(本管) メイロン7% 2A ソルデム1 500mL		100 mL/hr			
Rp8	(本管) メイロン7% 2A ソルデム1 500mL		100 mL/hr			